編集・発行
障害福祉サービス事業所
あ る む
〒242-0003
大和市林間 2-20-26
TEL.046-275-9520
FAX.046-275-9529

あるむの詩

2020年3月発行
第90号
NPO法人
共働あるむ

テーマ

家族との楽しい思い出

★新人紹介　★あるむ日誌
★農園日誌　★編集後記

ホームページ：https://www.alm.or.jp
メールアドレス：main@alm.or.jp

家族との楽しい思い出

長田　和子

「家族との楽しい思い出」と言うとやはり唯一家族旅行したハワイだろう。

うちの家族は、父も母も接客業だったせいもあり旅行をした事は無かった。家族で出かけるとしても母の実家の九州くらいだ。

ビリヤード場を閉めてから弟の一言で決まった。父と私は食べ物も美味しい北海道に行きたいと思っていたが弟の一言でハワイに決まった。当時円安で時期的にも損な時期だったが、今思うとあの時行っていなければ、家族で旅行した事が一度もなく別れてしまうことになったから弟には感謝の気持ちしかない。

当時、私は薬を飲んで入退院も二年に一度の割合でしていたので、今思うとよく行ったと思う。神様が力を貸してくれたのだろう。

最初は弟が全額出すと言ったが、私も半額出し、子供からの両親へのプレゼントで行った。ハワイを喜んでくれたのは、母だった。母は食べ物も文化もハワイを気に入り、とても楽しそうだった。弟と母は気が合い、料理を色々食べ比べていた。父と私は、ハワイに行っても冒険する事なく、日本食を食べていた。その頃、父は杖をついていたので移動はタクシーだった。ツアーに参加して、色々楽しかったが、最後の夜、困った事が起きた。私が眠れなくなった。弟に相談し、弟は、飲みに行こうと、ハワイのバーに私を連れ出し「ロングアイランドアイスティー」をハワイのバーで飲みながら、「これを飲むと、お姉も眠れるよ」と言われ、飲み、無事帰り、なんとか寝た。ハワイと言うと、私は、ロングアイランドアイスティーを思い出します。

ビリヤード場を始めたのも、今になって思えば、楽しい思い出かもしれない。ビリヤード場が成功しなかった理由に、弟が酒が大好きな事もあったが、私が店員として、ビリヤードの腕を磨かなかったせいもある。

運動音痴な私は、ビリヤード場の店員として、努力もせずにいた。あと熱海の景気が、その頃はよくなかったせいもあり、流行の店にはならなかった。従兄たちにも言われたが、ビリヤード場でなくて、飲食店の方が、母の手料理で、店が流行ったかも知れないねと闘病中の母に言われました。でも、４人で力を合わせて、店を開いたことは、私達家族にとって、本当に楽しい思い出です。私が病気になってから一度も私の家族は私を見捨てずに私と闘ってくれました。私にとって、本当にやさしい家族でした。やさしすぎたのかもしれませんが、私の誇れる家族です。

父の最後も三人で見取り、弟もいなくなり母の最後は私がなんとか、見取りました。

ハワイのロングアイランドアイ

スティーの思い出や、ビリヤード場の色々な思い出を、思い出しながら、私は入退院しない様に、作業所でがんばりたいと思います。皆様よろしくお願いします。

家族の楽しかった思い出

山﨑　春輝

私の家族との楽しかった思い出は静岡県に旅行に行った事です。

伊豆ぐらんぱる公園と伊豆シャボテン公園に行ったのは今でも忘れません。

楽しい思い出

井島　康人

僕が思い出すのは、小学校6年の時に犬山城の天守閣に登ったことです。一段一段、はだしで父におさえてもらいながら、登りました。

天守閣の囲いにつかまって立っている父と僕を、母が下から写真を撮ってくれました。犬山城は国宝だそうです。景色が素晴らしかったです。

帰りに明治村に行きました。昔のおひげの巡査に会って写真を撮りました。

家族との楽しい事

伊津井　暁彦

うちは、子供がいないので、妻と二人きりです。出会って十八年たつので、色々な楽しい思い出がありますが、最近では、日常的で平凡ですけど、二人で近所のスーパーに、食材等を買いに行くのが楽しいです。

それは、記憶に刻まれた大切な思い出

村井　由美

私の中では過去の家族旅行が楽しい思い出として深く記憶に残っています。その話を今回したいと思います。

それは私が中学の頃、アメリカのユタ州にある「アーチーズ国立公

園」がＴＶ番組に、取り上げられ、そこには自然界の砂岩からできた大きいアーチや今にも落ちて来そうな（―絵―）のようなバランスブロックなどの面白い風景が広がっていました。その公園が目にとまり、父に「行ってみたいな」と話しかけたことがきっかけでした。父は外資系の会社に勤務していた為、英会話に問題はなく、海外旅行も経験があり、それをすんなり、受け入れて貰えました。家族皆の旅行にあたり、付き合いのあるアメリカ人の方にも父が連絡を取ってくれました。皆もご存知と思いますがアメリカは国土が広い為、旅行もサンフランシスコなどを経由しながら前半と後半で宿泊プランを分けて計画し、前半のサンフランシスコでは、街の中をその方に案内してもらい、後半ではアーチーズにレンタカーで行きました。アーチーズは到着後、まずは砂岩の高い山を1時間程度登り、ようやく目の前にアーチが広がり、大変、感動したのを覚えています。フェンスや塀は一切なくアーチの向こうを見下ろした時は、恐怖を感じる程、公園下の風景が広がっていたのを覚えています。アーチも大小、様々ありましたし、小さいアーチでは上に乗ってジャンプする人までいました。もし、向こう側に足を踏み外したら即死です。高層ビル並み？なんていう高さの比ではありません。さすがに父はジャンプしませんでしたが、家族写真を撮ってくれましたし、公園以外にも、店でアーチーズの写真や絵が入ったＴシャツ、パズルも探してくれました。パズルは現在も部屋に大切に飾ってあります。また、父の用事で銀行に一緒に行ったとき、銀行員のお姉さんが、私を小学生低学年の子と勘違いし、「あめ」をくれちゃったこともありました。

　そんなわけで色々、笑っちゃう出来事も含め、印象に残っています。またそんな楽しいことがあると良いなと思っています。

―絵―

家族との楽しい思い出

関水　渓

　僕は小さい時に大山に登った事が思い出です。

家族との楽しい思い出

四宮　広隆

　家族との楽しい思い出は、昔、ディズニーランドへ行った時かなと思います。

家族との楽しい思い出

小泉　佳子

私は、お正月に、おとうとのかぞくがあそびにきてくれます。そして、かぞくといっしょにトランプ、ババぬきをしてあそびます。とてもたのしいです。

あと、おりがみをします。おとうさんも、いっしょにやります。私は、たのしかったです。

こんな日が、いつまでもつづくといいなあと、つくづくおもいました。

家族との楽しい思い出

池田　孔一郎

僕がまだ幼い頃に連れて行ってもらった、名前はあおぞら公園だったかな？その場所でお祭りが開かれていて。

花火を見たりチョコバナナを食べたり、金魚すくいをしていました。楽しかったです。

可笑しかったのが、僕がたまごっちのくじ引きで当たりを引いたのですが、たまごっちその物では無く、商品を買う権利がもらえるという変な物でした。

家族との楽しい思いで

本間　百合

家族皆で、木更津に行きました。木更津のアウトレットでプラプラして、そこでお昼を食べました。温泉についてから温泉に入りました。いい湯でした。次の日は、ぶつぞうをみに行ったけど、つまらなかったです。夕飯は、バイキングです。いっぱい食べました。おいしかったです。

母との楽しい思い出

松浦　太樹

母と東京ドームや横浜スタジアムに野球観戦に行ったことが、楽しい思い出です。

新人紹介

２０２０年1月27日にあるむに入りました、片桐義丈です。これから御世話になります。頑張りますので、どうかご指導下さいます様に宜しくお願い致します。

片桐　義丈

家族との楽しい思い出

片桐　義丈

幼少期に、家族で東京ディズニーランドに行ったことが、楽しい思い出です。

家族との思い出

三上　尚吾

家族旅行で一番遠出したのは北海道です。フェリーに乗って船旅でしたね。

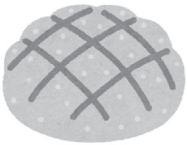
行ったのが四、五歳の頃だったのであまり覚えてませんが、フェリーの中で過ごした所は覚えてます。

定番の、鮭を咥えた木彫りの熊が今でも家にいます。

少し楽しい家族

塩原　愼一

金曜20日9時10分すぎバスで母とお墓いって昼食藤沢で食べ12時50分発各停で帰りました。少し楽しい一日になりました。土曜21日はこれから昼を食べに行きたいと思います。11時台に昼を食べ帰りにメロンパンを買いました。今日はよい一日になりました。



家族との思い出

坂本　力人

今年になって車が変わりました。軽自動車のルークスです。

４人乗りで、乗りごこちは普通です。毎日楽しいです。

思い出の家族旅行について

原　あすか

私が幼いころおばさんとおじさんと私の家族で車で箱根に行ったことです。

紫陽花がきれいな時は電車で行ったり温泉に入ったりして楽しい時間を過ごせることができました。

大きくなってからも温泉に入ったことは今でも忘れません。

家族との楽しい思い出

比嘉　修

私の家族は、妻と娘二人の四人家族です。家族との楽しい思い出は、初めて、ディズニーランドに行ったことです。

四人で、スプラッシュマウンテンやショーを見たことです。娘たちが、一番楽しみにしてたことは、タワーオブテラーだったので、私と娘三人で乗ったことが私の思い出です。妻は、ミッキー、ミニーちゃんが好きなので、一人で買い物をしてました。

今では、自分達でディズニーランドに行くようになりました。

家族との楽しい思い出

藤原　路恵

この10年間程は、ただただひたすらに、がむしゃらに走り続けてきた、という思いしかなく、娘との二人暮らしも、はや4年が経とうとしている。「忙しい」という事もあるけれど、私自体あまりコミュニケーションが得意な方でなく、娘に対して口うるさく注意する以外は割と放置が多く、もしかしたら寂しい思いをさせているのかも知れない。それでも何か、娘が喜ぶことをと、話を聞いてみるとケンカになったり、記念にと卒業旅行でディズニーへお泊りに行けばインフルエンザにかかり、宿泊先からずっと親子で体調最悪状態で楽しむどころではなくなり……。何だか、ロクな思い出がないのだが(苦笑)。

そんなこんなで、「楽しい思い出」という程のものはハッキリ言ってない。けれども、何気ない日常の中、くだらない事で娘と二人、大声で笑い合ったり、一緒にいて幸せだなと感じることが後々の「楽しかった思い出」となっていくのだろうなと、今は思っている。

家族との楽しい思い出

堀場　敦

楽しい思い出はやはり幼い頃に遊んだことではないでしょうか。夏休みになると鎌倉にある母の実家に家族揃ってでかけ、時には数日間泊まって過ごすこともありました。当時高円寺に住んでいたこともあり、鎌倉の自然豊かな屋外でいとこたちとの遊びは楽しかった思い出です。また、お正月は今ほどお店など開いていない時代だったので、家でボードゲームやトランプなどして遊んだことは楽しい思い出で、勝負に負けるとアイスクリームを皆にごちそうするなんてこともありました。

大人になってからはあまり家族と行動しなくなるかもしれませんが、家庭を持つと新しい家族としての行動になります。我が家は子どもがいないのですがペットがいるので泊まりでかけるときは宿探しに苦労しますが、一緒にでかけるのは楽しいです。

この原稿を書いている今は、新型コロナウイルスが世界中に流行して大変な時です。ウイルスに感染しないように過ごすことが優先されます。早く終息して、家族でかけて楽しい思い出が作れる世の中になるのを祈るばかりです。

お正月の風物詩

宮沢　周士

子供の頃は、年末年始ともなると田舎の祖父母の家に親戚一同が集まり、鍋を囲んでわいわいと賑やかに過ごすのがいつもの当たり前の、変わらぬ風景でした。

祖父や親戚の叔父さんが漁師だったおかげで、伊勢海老やらワラジ海老、その他様々な高級魚などをこれでもかとばかり惜しげもなく鍋に放り込み舌鼓を打つ…。

今にして思えば何とも贅沢な、我が家のお正月の風物詩だったと思います。

叔父さんは狩猟の免許も所持しており、大晦日の夜に仲間と山に入り、猟銃で猪や鹿を仕留めてくるのがお決まりの年越し行事だったのですが、解体したばかりの猪肉や鹿肉をお裾分けで持ってきてくれるのもとても楽しみでした。特に、刺身で食べる生の鹿肉の旨いことと言ったら！　今でもその味が忘れられません。

そんないつもの変わらぬ風景がいつ頃まで続いたのか、それさえ今となってははっきりと思い出せないくらい時が流れてしまいました。祖父母もとうに亡くなり、親戚で集まる機会もほとんどと言っていいくらい無くなってしまいましたが…。

炬燵と石油ストーブの暖かさ、そして皆の笑い声とともに、記憶の片隅に今でも残る、懐かしく楽しい思い出です。

今となっては…。

伊藤　悦子

私の母の実家は北海道です。遠いし旅費もかかるので、めったに帰省することはありませんでしたが、小学生のころ、家族で帰省することになりました。普段から旅行とか行かない家庭でしたので、とてもワクワクした記憶があります。

上野から夜行列車で青森へ。初めての夜行列車に興奮したのと、夜行列車の揺れのせいで、あまり眠れなかった…。青森から、青函連絡船で北海道へ。北海道まで4時間くらいかかるのですが、船酔いする私にとっては、地獄の時間となりました。立っていても、座っていても、気持ちが悪くてしかたない。何度トイレに行ったことでしょう。そして、船を降りてから、今度は電車です。たふん特急のような電車に乗ったと思いますが、これまた地獄。2時間程度？実際には、もっと短い時間だったかもだったかもしれませんが、子供の私には座りっぱなしでおしりが痛くなるし、暇だしで、これまたつらい移動となったのでした。帰りは青森から寝台ではなく特急で帰ってきたので、長時間というのはその記憶と混ざっているかもしれません。ともかく、この旅行でよく覚えていることは、この「船と電車がつらかった！」というものです。北海道では、親戚の家へいったり、いとこと遊んだりしたことも楽しい思い出のはずなのですが、大人になって思い出すのは、つらかったり、きつかったりすることなんだなぁー。今は家族みんなで旅行することもないので、こうした旅行もある意味、家族との楽しい思い出としておきます。

あるむ日誌

10・1　やまと国際フレンドクラブの長谷部さんが納品で来所いただいた際にお菓子をいただきました。いつもありがとうございます。

10・2　14時30分から保健福祉センター3階機能訓練室で機能訓練（卓球）を行い、所員、職員合わせて6名が参加しました。

10・3　14時から鶴間中学校支援級の先生3名が来所され、1月に職場体験される方のために見学されました。

10・4　14時から東急中央林間駅改札前でやまねっとのみつぼ作業所さんと共同募金を行い、所員、職員合わせて7名が参加しました。お疲れ様でした。

10・10　17時から厚木市民交流プラザアミューあつぎで県央障作連交流まつり実行委員会が行われ、藤原が出席しました。

10・17　イオン大和鶴間店さんから「イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン」でお茶菓子用ギフトカードをいただきました。いつもありがとうございます。

10・18　厚木市保健福祉センターホールで県央障作連交流まつりが行

われ、所員、職員合わせて12名が参加しました。食事を済ませてから参加したので楽しむ時間が少なくて残念でしたが、楽しかったですね。実行委員の皆様、お疲れ様でした。

10・21　16時30分からフレッシュゾーン・ボイスさんで大和精神事業所連絡会を行い、ホープ大和さんが参加し、各事業所の様子、講座等の話をしました。

10・28　今日から瀬谷養護学校3年のIさんが実習されます。2週間ですが頑張っていきましょう。

10・29　10時に神奈川県里親会会長の小島さんが来所され、冊子の打合せを行いました。その際にお菓子もいただきました。ごちそうさまです。

11・5　13時から大和市文化創造拠点シリウスホールで年末調整説明会が行われ、堀場が出席しました。

11・6　14時30分から保健福祉センター3階機能訓練室で機能訓練（卓球）を行い、所員、職員、実習生合わせて8人が参加しました。

11・7　14時30分から瀬谷養護学校3年生で実習中Ｉ君の作業見学が行われ、その後反省会が行われました。あと1日ありますので、頑張ってください。前職員の藤田さんが来所され、お菓子をいただきました。ごちそうさまです。

11・8　13時から今日で実習が終わる瀬谷養護学校3年生Ｉ君の進路担当の三谷先生が来所され、見学されました。今日で終わりですね、9日間お疲れ様でした。13時30分からせや福祉ホーム相談員の百瀬さん、水野さんが来所され、見学されました。大和市更生保護女性会さんからあられをいただきました。いつもありがとうございます。

11・15　10時30分に瀬谷養護学校進路担当の山田先生が来所され、実習のお礼にお菓子をいただきました。ごちそうさまです。四宮秀惠さんからお菓子とウエスをいただきました。いつもありがとうございます。

11・18　16時30分からホープ大和さんで大和精神事業所連絡会が行われ、あゆみの家さん、パン工房麦の香りさん、クレイヨンピピーさんが参加され、各事業所の様子、研修会等について話をしました。

11・20　16時から保健福祉センター1階、カフェ・スプンティーノで会議が行われ、堀場が出席しました。会議終了後、クリスマスツリーの設置を行いました。

11・21　17時から厚木市民交流プラザアミューあつぎで県央障作連交流まつり実行委員の反省会が行われ、藤原が出席しました。

12・3　所員小泉さんのご両親が来所され、お菓子をいただきました。いつもありがとうございます。

12・4　14時30分から保健福祉センター3階機能訓練室で機能訓練（卓球）を行い、所員、職員合わせて6名が参加しました。

12・5　17時から厚木市民交流プラザアミューあつぎでまごころ製品展示即売会実行委員会が行われ、伊藤が出席しました。

12・9　藤田勉さんからお団子をいただきました。ごちそうさまです。

12・10　髙橋美貴子さんからお菓子をいただきました。いつもありがとうございます。

12・11　14時から独楽寿司本店で食事会をしていただき、所員、職員合わせ18名が参加しました。独楽寿司さん、ごちそうさまでした。

12・16　16時30分からパン工房麦の香りさんで大和精神事業所連絡会が行われ、フレッシュゾーン・ボイスさん、ホープ大和さん、総活躍大和さんが参加され、各事業所の様子等

について話をしました。

12・17　星野繁さん（所員星野君のお父さん）からお歳暮をいただきました。いつもありがとうございます。16時から保健福祉センター1階カフェ・スプンティーノで会議が行われ、堀場が出席しました。

12・19　本郷泰生さんから寄付をいただきました。いつもありがとうございます。

12・20　元所員の古賀学さんからお歳暮をいただきました。いつもありがとうございます。

12・24　安座間実さんからお菓子をいただきました。ありがとうございます。

12・30　古賀修さんから寄付をいただきました。ありがとうございます。

12・27　10時から大掃除、11時からイオン大和鶴間店1階、フェスタガーデンに移動し、年末納会を行い、所員、職員合わせて18名が参加しました。今年も一年お疲れさまでした。

1・6　長い年末年始休暇も終わり、今日から新年の仕事です。頑張っていきましょう。

1・8　14時30分から保健福祉センター3階機能訓練室で機能訓練室（卓球）を行い、所員、職員合わせて9名が参加しました。お疲れさまでした。

1・16　17時から厚木市民交流プラザアミューあつぎでまごころ製品展示即売会全体会が行われ、伊藤が出席しました。

1・20　16時から大和精神事業所連絡会が行われ、あゆみの家さん、フレッシュゾーン・ボイスさん、ホープ大和さん、パン工房麦の香りさんが参加され、各事業所の様子、事業所情報ウェブサイト、職員交流会について話をしました。

1・23　今日から2日間、鶴間中学校の2名が職場体験されます。短いですが頑張っていきましょう。厚木市文化会館にて株式会社アイコーさんの展示会が行われ、所員、職員合わせて5名が参加しました。

1・24　今日で体験も終わりですね。緊張したと思いますが、週末はゆっくり休んでください。昨日に引き続きアイコーさんの展示会に所員、職員合わせて6名が参加しました。

1・28　ＰａｙＰａｙに加入しました。あるむにもキャッシュレスの流れが来ています。

1・29　16時から保健福祉センター1階カフェ・スプンティーノで会議が行われ、堀場が出席しました。

2・3　13時30分から神奈川県総合医療会館で指導講習会が行われ、堀場が出席しました。

2・5　14時30分から保健福祉センター3階機能訓練室で機能訓練（卓球）が行われ、所員、職員合わせて10名が参加しました。

2・17　16時30分から大和精神事業所連絡会が行われ、フレッシュゾーン・ボイスさん、パン工房麦の香りさんが参加され、各事業所の様子、その他について話をしました。

2・21　16時から保健福祉センター1階カフェ・スプンティーノで会議が行われ、堀場が出席しました。

2・26　神奈川県立ひたやま支援学校で広報紙の打ち合わせ時に、お菓子をいただきました。ごちそうさまです。

2・27　10時に「作業室Ｂ（紙すき等作業室）のアイロンから出火し、風向きが北東」という前提で子ども広場までの避難訓練を行い、所員、職員合わせて13名が参加しました。日頃の訓練がいざという時に役立ちます。前所員の福岡さんが来所され、お菓子をいただきました。ごちそうさまです。お元気そうで何よりです。

あるむ農園日誌

今年はサツマイモが大失敗に終わる。天候やあるむ内の仕事の関係で、植え付け時期になかなか畑に行けず、遅れに遅れた苗の植え付け。それにより、収穫量は普段の半分以下と見込まれた。加えて収穫時期には印刷の仕事が忙しくまた畑へ行けず。そうこうしている内に霜が降り、ただでさえ少ない芋も全て腐って駄目になってしまった。しかし、畑に行けず放置し、雨ばかりの悪天候が続いていたが故に間引きもあえてしなかった今冬は、葉物の育ちが非常に良く、ほうれん草等は特に良い肥料を使用した訳でもないが、大きく・色も濃く・肉厚な葉は過去これまでの中で一番出来が良いと言っていい程だ。小松菜も大きくなり過ぎず・柔らかく出来、ルッコラはとても良く育ち、どれも収穫量は今までの倍以上はあったと思われる。また、ルッコラに至っては、育ち過ぎの割には、食味は良く、味は濃厚・葉は肉厚で、1 株がとても大きかったので「増量」として販売したところ大好評に！「スーパーではこの値段でこの量は販売していないから嬉しい」との声が相次いだ。ところで畑自体は 3 月で返還しなくても良いかも知れない、という地主様の温情に感謝し、少しほっとしていた矢先、長年畑で色々と助けて下さっていた長さんが、3 月で畑を急遽撤退することに。万が一の返還に備え今期は秋以降植え付けは一切行わずにいた畑には、もうすぐ収穫終了予定ののらぼう菜と、6 月に収穫出来るか不明のにんにくが残るのみである。

2月　ホウレンソウ・ルッコラ・コマツナ・ラディッシュ収穫終了。

藤原 路恵

のらぼう菜（右）
と
にんにく（左）

小松菜（右）
と
ほうれん草（左）

枯れてしまった
サツマイモ

編集後記

過去のあるむの詩を見て「家族」関係があまり書かれていない気がしたので今回の題にしました。

「書ける方はどしどし書いてください」と言い、実際皆様にたくさん書いていただき、感謝しています。プレッシャーがかかってしまったなら、ごめんなさい。でも、皆の家族の話し、出来上がったら楽しみに読ませていただきます。

編集長　長田　和子